

(14) 理学部物理学科

【趣旨・目的】

物理学は、自然科学において理由付けに用いられ、自然界を理解するのに必須の学問分野です。理学部物理学科においては、物理学に関係する幅広い分野において、将来、国際的に活躍することのできる人材の育成を目指して教育を行っています。知的好奇心豊かに物理学を学び、未知の現象の発見や解明に強い興味を持ち、物理学の研究を通じて新たな価値を創造する意欲のある学生を選抜することを目的としています。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・ 知的好奇心豊かで、将来物理学における研究をする意欲を持つ学生
- ・ 研究を遂行するために必要な物理学の基本的知識と思考法を修得している学生
- ・ 物理学に関する数学的導出法や実験による検証法に強い興味を持つ学生

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
物 理 学 科	1 1 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和9(2027)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和8(2026)年4月から令和9(2027)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 高等学校又は中等教育学校を令和8(2026)年3月に卒業した者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和7(2025)年4月から令和8(2026)年3月までに卒業した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7(2025)年4月から令和9(2027)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「数学Ⅲ」及び「物理基礎、物理」を履修している者
(理数科等にあっては、「理数数学Ⅱ」及び「理数物理」を履修している者)
※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。
※ 該当科目を履修した者と同等の学力を有していることを、在籍する（既卒者については卒業した）高等学校等が認め、個人評価書にその旨の記載がある者を含みます。
- (2) 以下のうち、いずれかの資格・検定試験の成績がCEFR B1レベル以上の者

資格・検定試験名称	備 考
ケンブリッジ英語検定	
実用英語技能検定	
GTEC	
IELTS (IELTS Onlineを含む)	令和6(2024)年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効
TOEFL-iBT (Home Editionを含む)	
TOEIC (L&R及びS&W)	

TEAP	令和7(2025)年4月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効
TEAP-CBT	
Duolingo English Test	

(3) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、自己推薦書、適性試験及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、自己推薦書により選考を行います。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、適性試験を課し、面接を行います。

- ・適性試験：基礎的な知識及び技能の他、思考力及び判断力等を評価する。

適性試験では、前半(60分)で計算を主とする数学の基本問題、後半(120分)で数学及び理科(物理・化学)の論述問題を課す。出題範囲は以下のとおりとする。

<共通問題>

科目	出題範囲
数 学 150点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C (数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」とする。)

<選択問題>

科目	出題範囲
数 学 60点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C (数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」とする。)
物 理 180点	物理基礎及び物理 (「力学」、「波動」、「熱」、「電磁気」)
化 学 60点	化学基礎及び化学

- ・面 接：主に物理の内容に関する議論を通して論理の展開、表現、会話力を評価する。

【第1次選考および第2次選考の科目等と配点】

第1次選考		第2次選考	
調査書 個人評価書	80点	適性試験	450点
自己推薦書	20点	面接	250点